

報告第9号

令和4年度伊賀市下水道事業会計予算繰越しについて

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第26条第1項の規定により翌年度に繰り越して使用できる経費について、別紙のとおり繰越計算書を調製したので、同条第3項の規定により報告する。

令和5年6月9日提出

伊賀市長 岡本 栄

令和4年度伊賀市下水道事業会計予算繰越計算書

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務 発生額	翌年度 繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越 額に係る繰 越を要する たな卸資産 の購入限度 額	説明
						国庫補助金	企業債	損益勘定留保 資金等			
1 資本的支出	1 建設改良費	上野新都市浄化センター 4号送風機更新工事	円 4,840,000	円 0	円 4,840,000	円 0	円 0	円 4,840,000	円 0	円 0	世界的な半導体不足により、機器製作に必要な部材の入手が困難であり製作に日数を要するため。
		島ヶ原処理区 M143-1マンホール ポンプ場ポンプ更新工事	円 1,188,000	円 0	円 1,188,000	円 0	円 0	円 1,188,000	円 0	円 0	世界的な半導体不足により、機器製作に必要な部材の入手が困難であり製作に日数を要するため。
		せせらぎ浄化センター VVVF更新工事	円 3,300,000	円 0	円 3,300,000	円 0	円 0	円 3,300,000	円 0	円 0	世界的な半導体不足により、機器製作に必要な部材の入手が困難であり製作に日数を要するため。
		柘植浄化センター ストックマネジメント事業	円 150,607,000	円 0	円 150,607,000	円 78,408,000	円 64,600,000	円 7,599,000	円 0	円 0	入札不調により標準工期が確保できず年度内完了が困難になったため。
		柘植浄化センター 総合地震対策事業	円 128,015,000	円 0	円 128,015,000	円 66,350,000	円 55,200,000	円 6,465,000	円 0	円 0	入札不調により標準工期が確保できず年度内完了が困難になったため。

款	項	事業名	予算計上額	支払義務額 発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額に係る繰越を要するたな卸資産の購入限度額	説明
						国庫補助金	企業債	損益勘定留保等 資金			
1 資本的支出	1 建設改良費	依那古地区農業集落排水処理施設真空ステーションUPS更新工事	円 694,100	円 0	円 694,100	円 0	円 0	円 694,100	円 0	円 0	世界的な半導体不足により、機器製作に必要な部材の入手が困難であり製作に日数を要するため。
		西山地区農業集落排水処理施設P5中継ポンプ場No.1ポンプ更新工事	円 858,000	円 0	円 858,000	円 0	円 0	円 858,000	円 0	円 0	世界的な半導体不足により、機器製作に必要な部材の入手が困難であり製作に日数を要するため。
		花之木地区農業集落排水処理施設P6中継ポンプ場No.2ポンプ更新工事	円 594,000	円 0	円 594,000	円 0	円 0	円 594,000	円 0	円 0	世界的な半導体不足により、機器製作に必要な部材の入手が困難であり製作に日数を要するため。
		府中第1地区農業集落排水処理施設汚泥引抜ポンプインバータ更新工事	円 2,750,000	円 0	円 2,750,000	円 0	円 0	円 2,750,000	円 0	円 0	世界的な半導体不足により、機器製作に必要な部材の入手が困難であり製作に日数を要するため。
		古山地区農業集落排水処理施設P9中継ポンプ場 水位計及びフロートスイッチ更新工事	円 819,500	円 0	円 819,500	円 0	円 0	円 819,500	円 0	円 0	世界的な半導体不足により、機器製作に必要な部材の入手が困難であり製作に日数を要するため。
		地方創生汚水処理施設整備推進交付金事業	円 165,700,900	円 23,822,700	円 141,878,000	円 52,578,600	円 78,900,000	円 10,399,400	円 200	円 0	円 0